

特別支援学校へ就学・転学する児童生徒の個人調書

〇〇〇教育委員会 令和〇〇年〇〇月〇〇日 作成

ふりがな 児童生徒氏名		みやざき たろう 宮 崎 太 郎		男 女	生年月日 年 齢 (和暦)	令和〇〇年〇〇月〇〇日 〇〇歳
保護者氏名		宮 崎 一 郎			続 柄	父
保護者住所		〒〇〇〇-〇〇〇〇 〇〇郡〇〇町大字〇〇 〇〇〇番地〇 (学齢簿のとおり記載すること)				
児 童 生 徒 の 様 子	所 属 等	〇〇 市 町 村 立 〇〇 学校 第 〇 学年 〇 組				
		1 通常の学級 2 通級による指導 (言語 情緒 弱視 難聴 LD・ADHD) 3 特別支援学級 (知的 自情 弱視 難聴 病弱 肢体不自由)				
	障 が い の 状 況 等	障がい名	知的障がい		診 断 名	ダウン症候群
		検 査 名	田中ビネーV		療育手帳 及び障がい者手帳 等(写を添 付するこ と)	療育手帳 有・無・申請中 A・B1・B2 (令和〇年〇月〇日交付)
		検 査 の 結 果	中度の知的発達の遅れ 特別な教育課程での学習 が望まれる。 令和6年5月実施 検査者等 (中央児童相談所)			身体障害者手帳 有(無) (第 種 級) (年 月 日交付)
	障がいの状態 及び 教育的ニーズ	友だちと積極的に関わり、一緒に活動することを好むが、教科学習面で困難な課題が多くなり、自信をなくしている。授業への参加を拒む様子が見られるようになっている。				
就 学 に 関 する 意 見 ・ 判 断	本人・保護者 の 意 見	これまでは、社会性の発達から地域の小学校での指導を望んでいたが、児童の特性に応じた指導を望むようになり、現在は知的障がい特別支援学校への就学を希望している。				
	教育支援委員 会等の意見	知的障がい特別支援学校において指導を受けることが望ましい。				
	教育的ニーズ ・必要な支援 についての合 意形成の概要	知的発達に中度の遅滞が見られ、特別な指導が必要であること、対人関係、社会性等については、少人数の中での丁寧な個別の指導により今後の発達が大きいに期待できる。				
	市町村教育 委 員 会 の 総 合 的 判 断	知的障がい特別支援学校への転学が適当であると判断した。				